

エピソード

5月に種まきをして育てていた、フウセンカズラ。夏休みが明け、久しぶりにフウセンカズラを見て、Aくん Bちゃんが「風船できてる」と言いました。保育者が「本当だね!風船がいっぱいできてるね」と言うとAくんが「とって」と言いました。それを見てCくんDくんEちゃんたちも集まってきました。茶色くなった風船を手にとると、「うわあ」と言いながら嬉しそうに顔を見合わせました。見たり触ったり感触を楽しんでいるとCくんが耳の近くでフウセンカズラを振りながら「ん?中に入ってる」と言いました。風船の皮を破ってみると「うわあ!中に何か入ってる!」と驚くCくん。Dくんは「この黒いのは種」と言っています。周りにいた子ども達も風船を破っています。Cくん「もっとほしい、緑の風船もとって」と言いました。緑の風船を手に取り、皮を破ってみると、Dくん「緑の種が出てきた」と言いました。色の違う種が出てきて驚きながら手に取って見えています。Cくん「茶色の風船からは黒いの、緑の風船からは緑がでてくるねん」と発見したことを話していました。

子どもの育ちや学び

夏の休みの間にフウセンカズラが生長している様子に気付く。  
(興味、触ってみたい)



振ると音や振動を感じて中に何か入っているかもしれないと予想し、中身を確認しようとする。  
(予想、知りたい、見たい、ワクワク)



手に取って、感触を味わっている。  
(ワクワク、手触りや音、振動を感じる)



・中に入っているものが種だと知っていることを話す。  
・色の違いに気付き、考えた事を話す。  
(比べる、考えた事を言葉にする)

保育者の思い

・フウセンカズラが生長し変化していることに気付いた姿を受け止め、興味をもって見てほしいと思いました。

・一人一人が手触りや感触などを実際に見たり触ったりして感じてほしいと思いました。

・触ると中に何か入ってかもしれないと予想したことを確かめ、中から種が出てきた時の驚きや不思議さを感じてほしいと思いました。

・種を見て自分なりに感じた事や知っていることを話したり、不思議さや驚きを友達と一緒に感じたりしてほしいと思いました。

お家の方へ

子ども達は身近な自然から不思議さを感じたり、発見したりします。登降園時やお家の周りでも小さな発見がたくさんあるかもしれないですね。